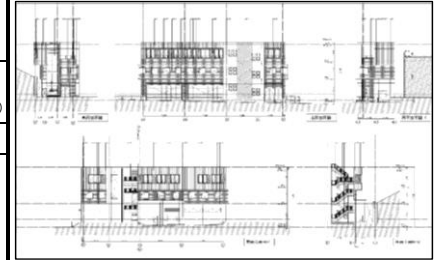


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	湯本分署建設事業 湯本分署建設工事	階数	地上3F
建設地	足柄下郡箱根町湯本字後山263-3、263-9	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年5月15日
敷地面積	472㎡	作成者	(株)桂設計
建築面積	282㎡	確認日	2019年5月16日
延床面積	701㎡	確認者	(株)桂設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境: 3.0, 温熱環境: 3.1, 光・視環境: 3.3, 空気質環境: 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性: 3.1, 耐用性・信頼性: 3.0, 対応性・更新性: 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境: 1.0, まちなみ・景観: 2.0, 地域性・アメニティ: 2.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の熱負荷: 5.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化効率率的運用: 2.7, 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源保護: 3.4, 非再生材料の使用削減: 3.3, 汚染物質回避: 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化への配慮: 3.4, 地域環境への配慮: 2.3, 周辺環境への配慮: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
住居地域における事務所ビルとして、省エネルギー性能に優れた建築計画を行う。		
Q1 室内環境 建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。自然換気有効開口面積が居室面積の1/15以上。建材および天井材はF☆☆☆☆を使用する。	Q2 サービス性能 更新必要間隔の長い内装材・配管材を使用し、建物の長寿命化を図る。内装・外装共に防汚性の高い建材を使用し、衛生面で維持管理に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具を使用し、水資源の保護を図る。躯体+LGS+仕上材のF ₁ を採用し、OA707-及びGL工法も採用することで解体時の資源再利用に配慮する。	LR3 敷地外環境 建物運用時のCO ₂ 排出量を抑え、温暖化への配慮を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される